岩手県立盛岡農業高等学校

令和7年度 年間指導計画

整理番号 5

A科:動物科学科　B科:植物科学科　C科:食品科学科　D科:人間科学科　E科:環境科学科

教 科	地理歴史	科 目	地理総合	単位数	2	学年・学科	3学年・全学科
教科書	帝国書院「高校生の地理総合」	副教材	帝国書院「高校生の地理総合ノート」				

学習目標	・現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて考察し、現代世界の地理的認識を養う。 ・地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
学習方法	・教科書に準拠した学習プリントを使用して授業をおこなう。 ・地図や資料から読み取り、地域性を考察する学習をおこなう。

学習評価		評価の観点	評価の観点の趣旨
	a	知識・技能 （専門教科は知識・技術）	・基礎的知識や基本的概念、地理的見方・考え方を身に付けている。 ・学習に必要とされる様々な資料を収集し、それらを的確に取捨選択し、調査・分析することができる。
	b	思考・判断・表現	・現代世界が抱える諸課題の現状を発見することができる。 ・現代的諸課題について、地域性をふまえて、その背景・要因・解決策を多方面から追究し、環境・人権・平和の観点からより良い社会のあり方を考察し、表現できる。
	c	主体的に学習に取り組む態度	・地理的諸事象や現代的諸課題に興味・関心を抱き、それらを自分自身の生活との関わりから積極的に位置づけ、結びつけることができる。 ・地理学習で得た知識・技能・態度を社会生活や現代的諸課題の解決に生かすことができる。

		重み付け	考査	考査外
		100%	50%	50%
前期中間	知識・技能(技術)	30%	20%	10%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	40%	10%	30%
		100%	50%	50%
前期末	知識・技能(技術)	30%	20%	10%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	40%	10%	30%
		100%	50%	50%
後期中間	知識・技能(技術)	30%	20%	10%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	40%	10%	30%
		100%	50%	50%
後期末	知識・技能(技術)	30%	20%	10%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	40%	10%	30%

学期	単元名 （題材）	学習内容 （小単元）	評価の観点 a	評価の観点 b	評価の観点 c	単元の評価規準	評価方法
前期中間	1部　地図や地理情報システムでとらえる現代世界 1章　地図や地理情報システムと現代世界 2章　結びつきを深める現代世界	「地球儀と世界地図からとらえる地球」「日本の位置と領域」について学ぶ。 「世界の国家群」「貿易で結びつく世界」「観光を軸とした国際的な人々の移動」について学ぶ。	○	○	○	a：基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。 b：地域性や日常生活との関連をふまえ、多面的・多角的に考察し表現している。 地図や統計など諸資料を収集し、読み取ったりまとめたりしている。 c：関心と課題意識を高め、意欲的に追求しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
前期末	2部　国際理解と国際協力 1章　生活文化の多様性と国際理解	「生活の舞台としての地形・気候・文化」「生活の基盤としての産業」について学ぶ。 「東アジア」「東南アジア」「南アジア」「西アジア・北アフリカ」の生活・文化・環境について学ぶ。	○	○	○		
後期中間	2章　地球的課題と国際協力	「南アフリカ」「ヨーロッパ」「ロシア」「北アメリカ」「中部・南アメリカ」「オセアニア」の生活・文化・環境について学ぶ。	○	○	○	a：基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。 b：地域性や日常生活との関連をふまえ、多面的・多角的に考察し表現している。 地図や統計など諸資料を収集し、読み取ったりまとめたりしている。 c：関心と課題意識を高め、意欲的に追求しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
後期末	3部　持続可能な地域づくりと私たち 1章　自然環境と防災 2章　生活圏の調査と地域の展望	世界の諸課題について、複合的、総合的にとらえ、解決策を考察する。	○	○	○		